

◆ 平成25年度 自主事業計画書 ◆

	自主事業名	対象者（ターゲット）	内容	期待できる成果（所産）
1	利用者へのサービス提供事業	市民活動プラザ利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・文具の貸出し ・コピー用紙の販売 ・ポスター・看板・横断幕などの作製受付 ※ポスター・看板・横断幕に関しては作製支援も受け付けます。	今までポスターは高価なもので作製を断念していた市民活動団体などは、団体PRの一環として気軽に利用することができる。また、市民活動プラザ職員のスキルを利用して「効果的」なポスター・チラシ等を作製できる。
2	利用者からの持込み企画への協力・開催支援等	市民活動団体 市民活動プラザ利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろ塾継続支援 ⇒H24年度から新たに開催された「おもしろ塾」についても支援していく。 ⇒H25年度は継続支援と新たに開催したいと相談があった場合支援する。 ・東北支援プロジェクトの継続支援 ⇒H23年度から引き続き「編み物」による東北支援を継続する。 ・利用者のニーズによるイベントの開催 ⇒H24年度に引き続き利用者から要望があるイベントを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろ塾 ⇒市民活動プラザ利用者の要望が多い「スロースローパソコン」をはじめ、H24年度から開催された「ちび子英語・中国語教室」も家族で楽しめるとの声が多い。これからも利用満足度を向上させるために支援する。 ・東北支援 ⇒利用者からの要望が強く「支援している実感が持てた」「支援できてうれしい」などの多くの声がある。東北支援をしたいという方の満足度が向上し、他の利用者の参加のきっかけにもなり市民活動の活性化にもつながる。 ・イベント ⇒H24年度は「打ち水」などのイベントを開催し、たくさんの利用者の笑顔があった。今年度も利用者の満足度につながり来館者数増加になるようにイベントの計画を立てる。
3	全国のNPO支援団体（センターオブセンター）の企画及び事業実施の支援	（情報収集の対象） 全国の中間支援組織 （ターゲット） 佐賀県内の各センター受託団体および佐賀県内の中間支援組織	（情報収集） <ul style="list-style-type: none"> ・全国で活動している中間支援組織（特に活躍している団体）の活動情報を収集 ・中間支援組織の現状や課題などを収集 （情報発信） <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県内でセンター受託団体および中間支援組織を集め、全国で活発に活動している団体の活動紹介。 ・集まった団体で、情報発信についての問題点と改善策などの意見交換会をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間支援組織にどのような取り組みが必要とされるのか、行政や企業と市民活動団体をつなぐなどの課題解決を考える場づくりをすることにより自団体だけでなく様々な団体と意見交換や交流ができる。それにより中間支援組織の意識の向上とともに中間支援組織が支援する団体の活性化にもつながる。 ・収集や発信情報について中間支援組織間が意見交換することで、新たな改善策が見つかり中間支援組織間のつながりができてセンター利用者へのサービス向上に役立つ。
4	企業・財団等の社会貢献活動への企画・事業実施の支援	社会貢献を活動（CSR）を考えている企業や財団等、またその情報が欲しい市民活動団体	<ul style="list-style-type: none"> ・さが元気ひろばの情報を共有して社会貢献活動を考えている企業・財団等を訪問しリスト化する。 ・企業・財団等が助成を行う場合、市民活動団体への説明会企画、開催の支援をする。 ・説明会を開催しない場合でも、市民活動団体とのマッチングなど相談支援者と協力して実行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献活動を考えている企業・財団等をリスト化することでCSR活動の内容把握ができ、内容にそった活動をしている市民活動団体が助成や協力を求めた場合すぐに紹介、マッチングできる。 ・企業・財団は、社会貢献活動としての新たな分野の裾野が広がる。（企業・財団側所産） ・市民活動団体の理解者、支援者が増えることで団体への資金協力や物資的援助の期待もできる。（市民活動団体側所産）
5	公共サービスの担い手育成講座の開催支援	市民活動プラザ利用団体（任意団体およびNPO法人）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体へ向けて、計画の立て方、提案書の書き方、事業の進め方など、またイベントを開催する上で必要なファシリテーションスキルなど活動をする上で役立つ講座開催の支援をする。（具体的な内容は市民活動団体の要望に合わせる） ⇒他団体にそのような企画がない場合は、当団体が勉強会等を開催して市民活動団体支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献活動を考えている企業・財団等が助成を募集した場合、市民活動団体が提案書、企画書を提出できるスキルが身につく、ファシリテーションスキルなどはイベント等を開催する際に役立つ。 ・市民活動団体（自団体）のミッションを見直し再確認できる。 ・団体を運営していく上で必要とされるスキルを身につけることで、団体の運営がスムーズになり力強い運営が見込める。
6	協働推進のための研修、協働先進地域の事例発表等の市民活動にかかわる企画および事業	協働に関心がある市民活動団体、企業、行政	<ul style="list-style-type: none"> ・協働先進地域の事例を市民活動プラザ3階フロアにてパネルで紹介する。 ・協働先進地域での事例発表会のための企画をし、発表会後の交流会や意見交換会などの実施を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働先進地域の事例をパネルで掲示することにより、幅広い市民活動団体また市民活動プラザ利用者に知ってもらうことができる。協働推進の一助になる。 ・協働力本を知らない人もいる。広く読んでもらうことで、市民活動の活性化にもつながる。 ・市民活動団体、企業や行政の交流がはかれる。協働の理解が深まる。